

アジア・ミーティング大阪2010

海外の映画祭では話題になりながらも、それぞれの国の事情によって劇場公開されない作品は毎年多数ある。アジア・ミーティングでは、これまでもそういった「映画祭でしかお目にかかれない秀作」を上映してきたが、今回も中国・韓国・香港、そしてマレーシアからの4本の長編劇映画と、特別上映の短編作品も準備している。一方にハリウッド映画があり、その対極にインディペンデント作品がある。その意味はいったい何なのか、エンタテインメントとしての映画と、現実に沿ったフィクションとしての映画の対立を感じていただきたい。

【上映作品】



『駱駝は砂漠を離れない』

日本初上映

A Camel doesn't Leave Desert

2008年 / 韓国 / 35mm (デジタル上映) / 75分

監督・脚本: チョ・キュジャン 撮影: チュ・ヨンジョン 出演: キム・ナクヒョン

◎ 刑期を終えて古里に帰ったばかりのヨン・クワンは、誰からも歓迎されない。亡き母の遺産を手にして不動産売買、未亡人との結婚、魚の行商と新しい生活を始めるが、凶暴で無計画な彼の生活は平穏とは無縁だ。社会復帰への不安と妻への不信感が男を狂気の最期へと導いていく。2005年から短編を監督してきたチョ・キュジャンの初長編作品。



『悪党たちの宴』 Feast of Villains

日本初上映

2008年 / 中国 / DV / 85分 監督: ハン・ジャンリン 出演: ハン・シクァン

◎ トラックの配送で父親の入院費用を稼ぐ善良な青年。高額な費用を捻出するために、違法な臓器売買に手を染める。手術を終えて、銀行口座を確認するが入金はない。そして父親のもとに戻った男は、父が亡くなったことを知る。ジャ・ジャンクールのスタッフも務め、自らドキュメンタリーを撮ってきた監督の劇映画第2作。



『北京がやって来た!』

日本初上映

Beijing is Coming

2009年 / 香港 / DV / 80分 監督: ボノ・リー 出演: ワン・シュオ

◎ 作家であり文化研究者で映画評論家でもあるボノ・リーの著作『潮爆北京』の映画化。香港返還時の街の変化に思いを寄せ、移り変わる北京の今をカメラで押さえた。本当の北京の様子を伝えたいと燃える若きビデオ店主。街を出たいと熱望している少女。思い出を探しに北京に帰ってくる老人。さまざまな人物を介して、フィクションはノンフィクションに、ノンフィクションはフィクションに。独特の展開を繰り広げる斬新な新世代の作品。



『それから』 After All These Years

日本初上映

2009年 / マレーシア・中国・日本 / HDV / 100分

監督: リム・カーワイ 出演: 大塚匡将、ゴウジー、ヘー・ウェンチャオ

◎ 10年ぶりに故郷に帰ってきたア・ジェ。しかし、家族や町の住人は口をそろえて彼の存在を否定する。レストランの店主ラオ・ファンだけが、彼を覚えていることを告白する。彼はラオ・ファンに連れられ、秘密の鍵を握るという男に会いに行くが、殺人のぬれぎぬを着せられ死刑に処される。その後、死んだはずのア・ジェが再びラオ・ファンのレストランに現れ、別の人格として再び人生を歩み始める……。かつて大阪で「CINEMA塾」(塾長: 原一男監督)に参加したリム・カーワイが中国の北京近郊で作った監督第1作。



『Le Petit Chaperon Rouge』

関西初上映

2008年 / フランス / 35mm / 35分

監督: 青山真治 出演: ルー・カステル、ジュディット・セムラ

◎ 2008年5月に約1カ月フランスに滞在した青山監督。マルコ・ペロッキオからヨーロッパを代表する監督たちの作品に出演してきたイタリアの俳優ルー・カステルを主演に抜擢し、「赤ずきん」を題材に撮った短編。

会期…3月13日(土)~19日(金)

【上映スケジュール】各回入替制

シネ・ヌーヴォ (TEL.06-6582-1416)

3/13(土)

15:30~『Le Petit Chaperon Rouge』、

『駱駝は砂漠を離れない』

18:30~【シンポジウム1】

チョ・キュジャン×リム・カーワイ

20:30~『それから』

3/14(日)

16:00~『北京がやって来た!』

18:00~【シンポジウム2】

ボノ・リー×ハン・ジャンリン

20:00~『悪党たちの宴』

※シンポジウムは、「アジア・ミーティング大阪2010」のチケット・半券で無料。

料金: 前売1000円 / 当日1200円 Pコード: 556-146

プラネット・スタジオ・プラス・ワン (TEL.06-6377-0023)

3/15(月)

19:30~『駱駝は砂漠を離れない』

21:00~『悪党たちの宴』

3/16(火)

19:30~『北京がやって来た!』

21:00~『それから』

3/17(水)

19:30~『北京がやって来た!』

21:00~『駱駝は砂漠を離れない』

3/18(木)

19:30~『悪党たちの宴』

21:00~『それから』

3/19(金)

19:00~リクエスト作品上映(13~18日に投票)

21:00~【クロージング特別上映】

『Le Petit Chaperon Rouge』

※プラネット・スタジオ・プラス・ワンでの上映および料金・チケットの販売につきましては、直接会場にお問い合わせください。

アジア・ミーティング大阪2010

シンポジウム・ゲスト監督(予定)

ハン・ジャンリンさん(中国)

ボノ・リーさん(香港)

リム・カーワイさん(マレーシア)

チョ・キュジャンさん(韓国)

【大阪アジア映画祭2010 特別シンポジウム】

「アジア映画のさらなる交流へ ~ロケ地としての大阪の可能性~」



祭で出会った映画人たちが新しい枠組みで映画製作ができるようサポートすることであり、新たな映画が産み出されるよう取り組むことである。私たちも、アジア映画の最新作上映はもとより、大阪・関西を舞台に作られた映画をアジアに向けて発信していくことが、今後望まれるだろう。◎今回の特別シンポジウムは、そのような交流・発信に向けて、ロケ地としての大阪・関西の可能性について議論したい。海外での事例を紹介しながら、魅力あるロケ地とは、そのために求められることとはなど、ロケ地招請側と製作側の双方から発言していただく。それは、若い映画人たちにとっても有意義な議論になると同時に、映像産業と文化・観光の振興、そして地域の活性化に向けて考える場となるだろう。

会期…3月12日(金)16:30~ 会場…シネ・ヌーヴォ(九条/69席) TEL.06-6582-1416 料金…無料

共催:大阪ロケーション・サービス協議会、ジャパン・フィルムコミッション 近畿ブロック

パネリスト(予定) パク・カンスさん(釜山フィルムコミッション代表、映画監督) / キム・テシクさん(『東京タシメテ』ディレクターズ・カット版)監督

寺脇研さん(ジャパン・フィルムコミッション理事長) / 吉村誠さん(映像産業振興機構(VIPO)大阪事務所長) / 司会:上野昂志さん(批評家、映画評論家)

◎いま、映画は国境を越え、さまざまな国々のスタッフ・キャストによって作られている。今回上映する大阪アジア映画祭の出品作も、合作映画が少なくない。映画を通じた国際交流は、いまや当然のことになっている。◎映画祭の役割も、映画の上映とそれを通じた交流から、さらに一歩先が求められるようになってきた。それは、映画